

DS8208/DS8288

デジタルス キャナース リーズ

クイックスタートガイ ド

MN-005223-02JA Rev. A



Zebra Technologies | 3 Overlook Point | Lincolnshire, IL 60069 USA
zebra.com

2026/04/09

Zebraのワードマークおよびロゴは、Zebra Technologies Corpの商標であり、世界の多数の法的管轄区域で登録されています。他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。©2026 Zebra Technologies Corp.および／またはその関連会社。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/informationpolicy.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

モデル番号

このガイドは、次のモデル番号に適用されます。

- ・ DS8208
- ・ DS8208-HC
- ・ DS8288
- ・ DS8288-HC

デジタルスキャナの取り出し

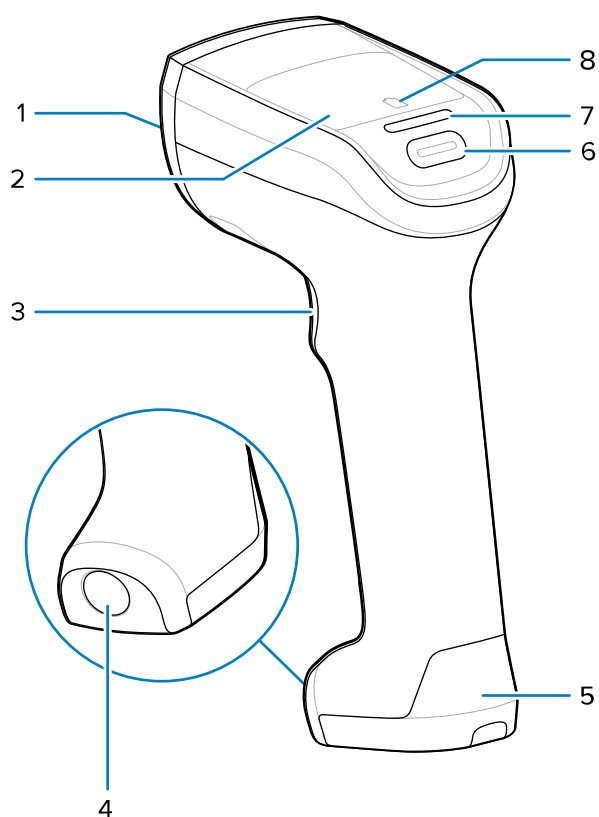
スキャナを箱から取り出します。

1. スキャナから保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使用できるように、箱を保管しておきます。
2. 次の品目が箱に入っていることを確認します。
 - ・ デジタルスキャナ
 - ・ クイックスタートガイド
 - ・ 規制ガイド
3. 機器に損傷がないか点検します。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバルカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
4. デバイスを初めて使用する前に、筐体から搬送保護フィルムを取り除いてください。

コードレスDS8288スキャナの機能

コードレススキャナの主な機能。

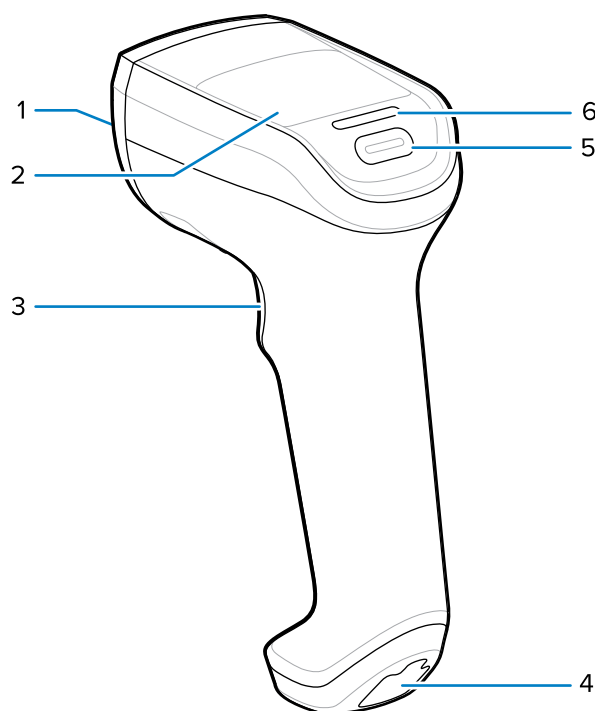
図1 コードレススキャナの機能



番号	項目	説明
1	スキャンウィンドウ	このウィンドウをバーコードに向け、バーコードデータを読み取ります。
2	スピーカ	スキャナのステータスと動作を表す音声出力を提供します。
3	スキャントリガ	バーコードスキャンを開始します。
4	ネジカバー	バッテリーカバーのネジを保護する耐水性シールを生成します。
5	バッテリー収納部カバー	交換可能バッテリーまたはPowerCapを収容します。
6	プログラム可能ボタン	プログラム可能なトリガ。デフォルトの動作： - SR/DL：セカンダリトリガ。 - HC：ナイトモードを切り替えます。
7	スキャンLED	スキャンのステータスを示します。
8	バッテリーLED	バッテリーの充電レベルを示します。

コード付きDS8208スキャナの機能

コード付きスキャナ的主要機能。



番号	項目	説明
1	スキャン ウィンドウ	このウィンドウをバーコードに向けて、データを読み取ります。
2	スピーカ	スキャナのステータスと動作を表す音声出力を提供します。
3	スキャン トリガ	バーコードをスキャンするとき、イメージャを操作します。
4	ポート	ホストへのコードによる接続をサポートします。
5	プログラム可能ボタン	プログラム可能なトリガ。デフォルトの動作： ・ SR/DL：セカンダリトリガ。 ・ HC：ナイトモードを切り替えます。
6	スキャンLED	スキャンステータスを示します。

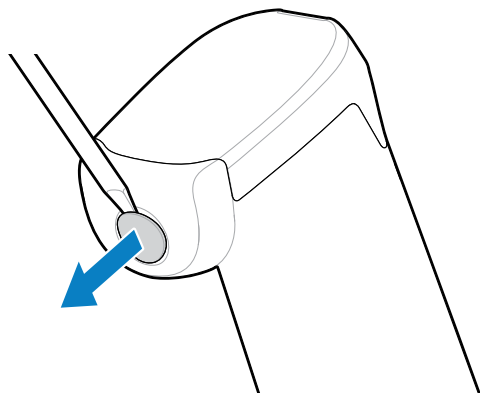
バッテリーの交換

バッテリー収納部カバーを取り外して、充電式バッテリーにアクセスします。

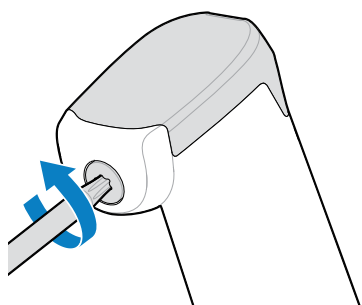


注： バッテリーの交換手順は、コードレスDS8288/DS8288Rモデルにのみ適用されます。

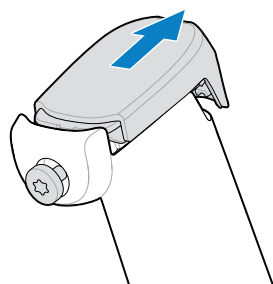
1. バッテリーのネジカバーを取り外します。



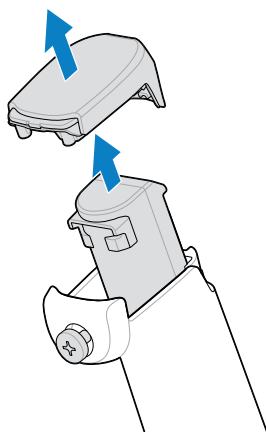
2. T10ドライバーを使用してネジを取り外します。



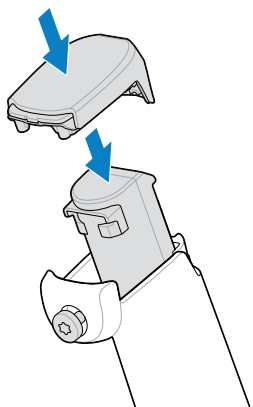
3. バッテリー収納部カバーをスライドさせて外します。



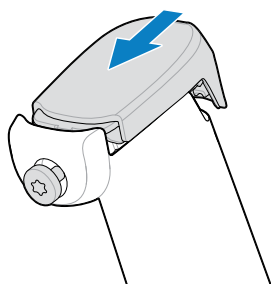
4. バッテリーを収納部から取り出します。



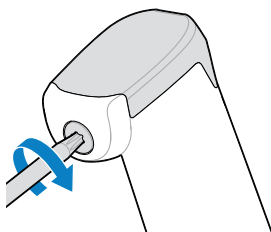
5. バッテリーと収納部カバーを元通りに取り付けます。



6. バッテリー収納部カバーを所定の位置にスライドさせます。



7. T10ドライバーでバッテリー収納部カバーを約1.13N・m（10重量ポンド・インチ）の力で固定します。



クレードルの接続

ホストデバイスの充電やホストデバイスとの通信を行うには、クレードルをホストデバイスまたは電源に接続します。USB-CケーブルとRJ50ケーブルは、通信と電力の両方を提供します。

RJ-50またはUSB-Cケーブルをクレードルに接続できます。ケーブルを電源に接続してスキャナに充電するか、またはホストデバイスに接続して、クレードルとホストデバイス間の通信と充電の両方を行います。

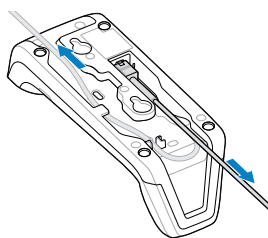


注: 同時に2本のケーブルを使用して、充電速度を上げることができます。RJ-50ケーブルをホストコンピュータに接続し、USB-Cケーブルをホストまたは5 VDCのウォールアダプタに接続します。

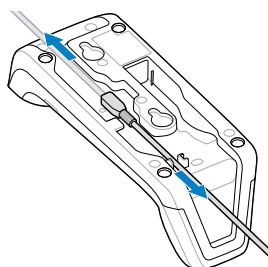
- ・ 両方のケーブルを接続すると、RJ50がすべてのデータのアクティブなパスになります。
- ・ RJ50に有効なホストがない場合、データパスはUSB-Cに戻ります。
- ・ 電力は常に、充電速度が速いケーブルから消費されます。
- ・ クレードルは、ケーブル設定が変更されるたびにリセットされます。

- ・ USB BC 1.2検出は、RJ50コネクタとUSB-Cコネクタの両方でサポートされています。BC 1.2対応またはUSB-Cのホストポートに接続して、USB充電を高速化します。
1. ケーブルをホストコンピュータまたは電源に接続します。
USB-Cケーブルを使用している場合、USB-C to USB-A (CBL-U67-S07ZAR) またはUSB-C to USB-C (CBA-U65-S07ZAR) を電源アダプタまたはホストコンピュータに使用します。
 2. クレードルにケーブルを装着します。
ケーブルはホストよりも先にクレードルに接続する必要があります。
 3. ケーブルを固定するため、タブを使用してクレードルのケーブル溝にケーブルを通します。

標準的なクレードル

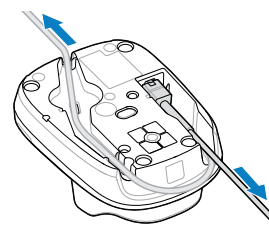


RJ-50ケーブル

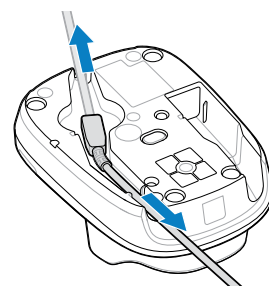


USB-Cケーブル

プレゼンテーションクレードル



RJ-50ケーブル



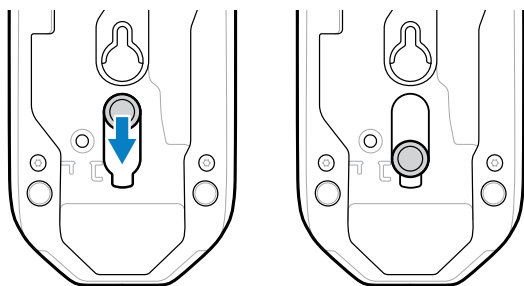
USB-Cケーブル

4. デジタルスキャナをクレードルに装着するか（**装着時のペアリング**が有効な場合）、またはペアリングコードをスキャンして、デジタルスキャナをクレードルとペアリングします。
スキャナを充電するか、またはバーコードデータをホストデバイスに転送する準備が整いました。

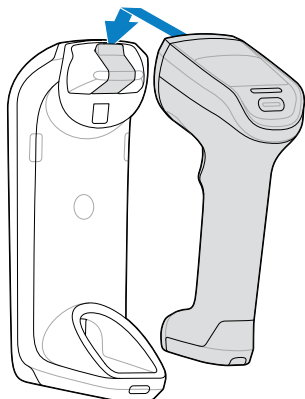
DS8288の標準クレードルへの装着

CR8288標準クレードルは、スキャナのバッテリーを充電します。装着プロセスは、水平クレードルでも取り付け型クレードルでも同じです。

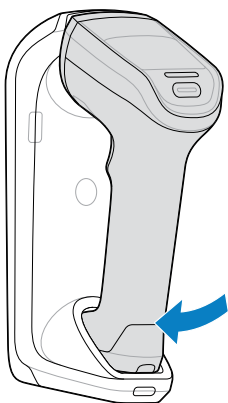
- ・ 取り付け型クレードルの場合、ラッチが上を向いていることを確認します。
 - ・ 水平クレードルの場合、ラッチが下を向いていることを確認します。
1. クレードルのマグネットをクレードルの底部に向かってスライドさせます。（医療用モデルのみ）。



2. スキャナの上部をクレードルに挿入します。



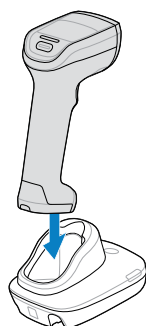
3. クレードルの底部が充電パッドに固定されるまで、ハンドルをクレードルに向かって押します。



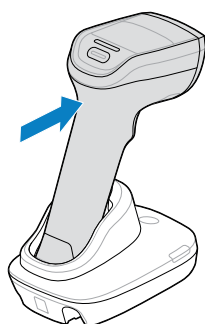
DS8288スキャナのプレゼンテーションクレードルへの装着

プレゼンテーションクレードルは、スキャナのバッテリーを充電し、プレゼンテーションモードでハンズフリースキャンをサポートします。装着プロセスは、水平クレードルでも取り付け型クレードルでも同じです。

1. スキャナをクレードルへまっすぐ下に差し込みます。

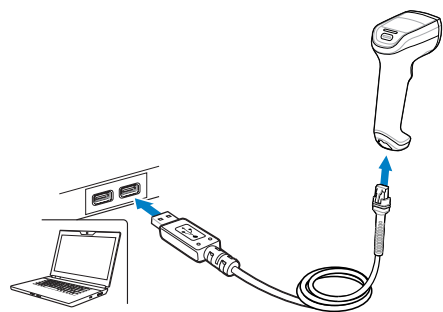


2. スキャナを前方に回転させて、スキャナの底部を充電パッドに合わせます。

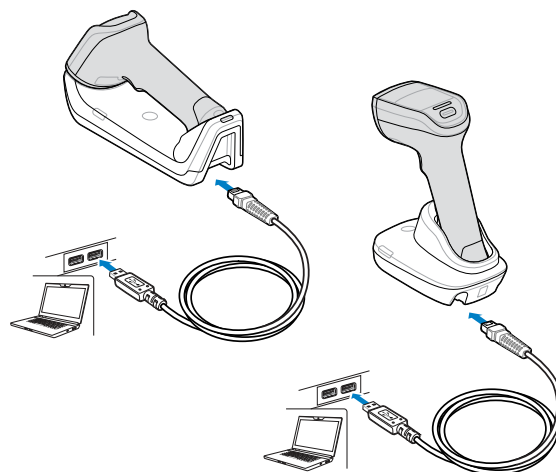


USBホストインタフェース

ホストデバイスとのUSB接続は、スキャナへの電源供給と通信に使用されます（コード付きDS8208/DS8208Rモデルの場合はケーブル、コードレスDS8288/DS8288Rモデルの場合はクレードルを経由）。必要に応じて、適切なバーコードをスキャンしてデバイスの接続を行います。



コード付きDS8208/DS8208R USB接続



コードレスDS8288/DS8288R USB接続

スキャナをケーブル接続でデバイスに接続しない場合は、適切なバーコードをスキャンします。



*USB HIDキーボード



IBMハンドヘルドUSB



OPOS (完全無効対応のIBMハンドヘルド)



USB CDCホスト



USB CDC経由のSSI



Symbol Native API (SNAPI) イメージングインタフェースあり



Symbol Native API (SNAPI) イメージングインタフェースなし



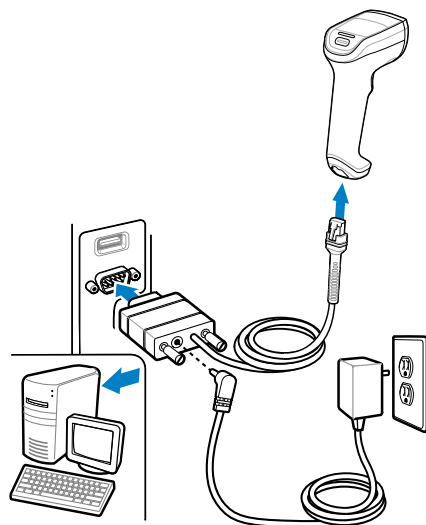
USB HID POS (Windows 10デバイス専用)



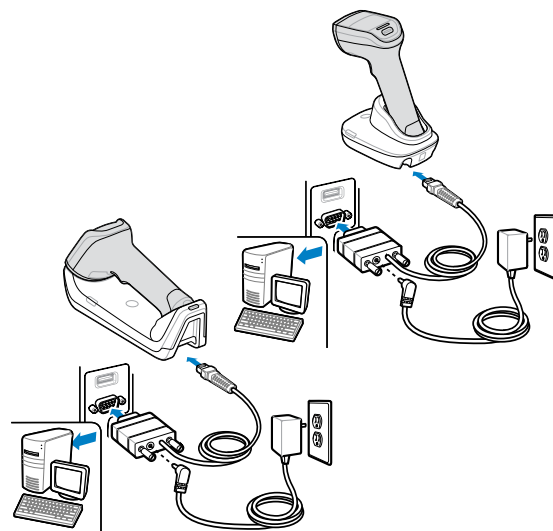
IBMテーブルトップUSB

RS-232ホスト接続

ホストデバイスとのRS-232接続は、スキャナへの電源供給と通信に使用されます（コード付きDS8208/Rモデルの場合はケーブル、コードレスDS8288/Rモデルの場合はクレードルを経由）。必要に応じて、適切なバーコードをスキャンしてデバイスの接続を行います。

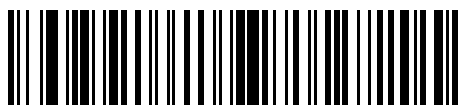


コード付きDS8208/R RS-232接続



コードレスDS8288/R RS-232接続

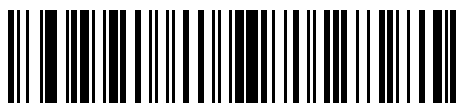
スキャナをケーブル接続でデバイスに接続しない場合は、適切なバーコードをスキャンします。



*標準RS-232



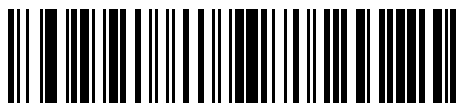
ICL RS-232



Nixdorf RS-232 Mode A



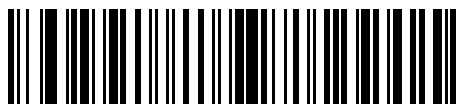
Nixdorf RS-232 Mode B



Olivetti ORS4500



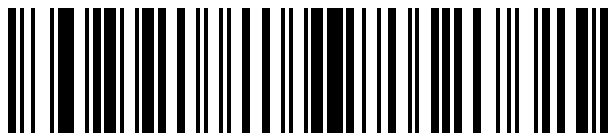
Omron



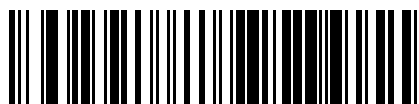
OPOS/JPOS



Fujitsu RS-232



CUTE



NCR



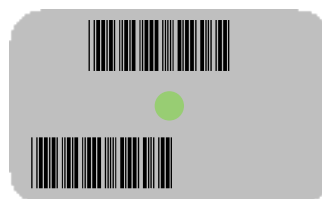
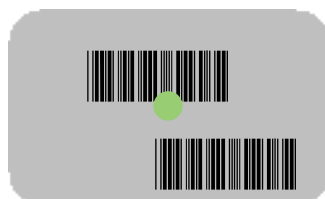
Datalogicバリエーション

照準

スキャナの読み取りウィンドウをバーコードの中央に向けます。スキャン時にスキャンウィンドウから緑色のLEDドットが投影されるので、バーコードとスキャナの読み取り範囲を調整できます。スキャナとバーコードの適切な距離については「読み取り範囲」を参照してください。

必要であれば、スキャナは照明LEDをオンにしてバーコードを照射します。バーコード上にドットがある場合にのみ、スキャナがバーコードを読み取ります。

図2 スキャナの照準



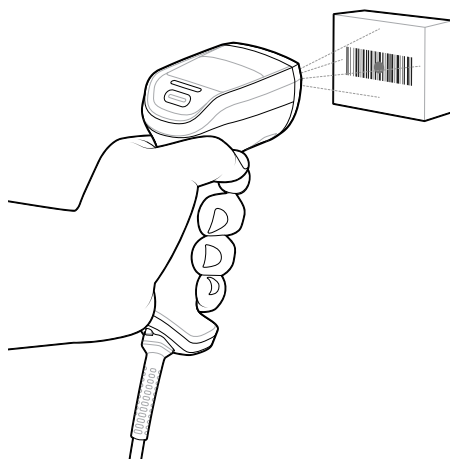
照準ドットは、スキャナがバーコードに近づくとき小さくなり、遠くなると大きくなります。小さいバーやエレメント（milサイズ）があるバーコードのスクリーンは、スキャナに近づけ、大きなバーやエレメント（milサイズ）があるバーコードのスクリーンではスキャナから遠ざけます。

スキャナは、バーコードを正常に読み取るとビープ音を鳴らします。ビープ音とLEDの定義について、詳しくは[スキャナ表示の表](#)を参照してください。

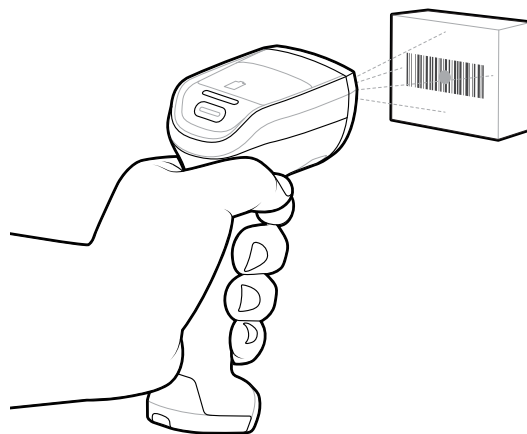
ハンドヘルド スキャン

トリガを押して、ハンドヘルドモードでスキャンします。

1. スキャナをホストデバイスに接続します。
 - ・ コード付きDS82208スキャナ：スキャナとホストデバイスがケーブルで接続されていることを確認します。
 - ・ コードレスDS8288/スキャナ：スキャナがクレードルとペアリングされていることを確認します。
2. スキャナをバーコードに向けます。



DS8208



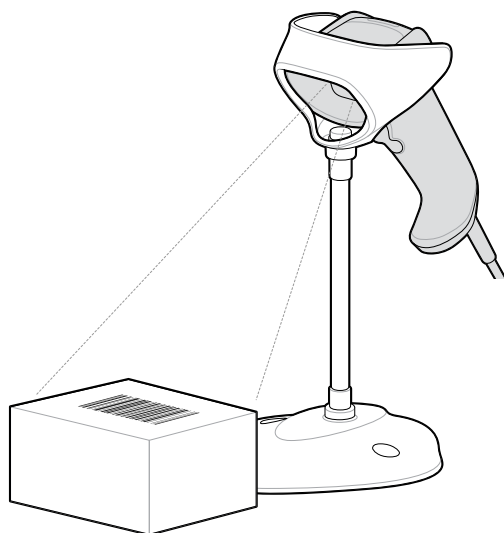
DS8288

3. トリガを押し続けます。
4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。
照準ドットにより、明るい照明条件でも可視性が向上します。
読み取りが成功すると、スキャナがビープ音を鳴らし、スキャンLEDが緑色で点滅します。

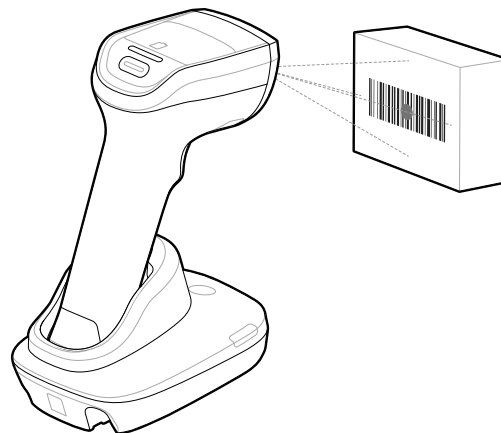
ハンズフリースキャン

アイドル状態では、スキャナはオブジェクト検出モードで動作し、自動的にウェイクアップして、読み取り範囲に存在するバーコードを読み取ります。オブジェクト検出モードで、スキャンウィンドウ内の照明LEDが薄暗く点灯するのは正常です。

1. スキャナがホストデバイスに接続されていることを確認します。
 - ・ コード付きDS82208スキャナ：スキャナとホストデバイスがケーブルで接続されていることを確認します。
 - ・ コードレスDS8288スキャナ：スキャナがプレゼンテーションCR8288-PCクレードルとペアリングされていることを確認します。
2. スキャナの読み取り範囲内にバーコードを提示します。



DS8208



DS8288

読み取りが成功すると、スキャナはピープ音を鳴らし、LEDが緑色で点滅します。

よく使うバーコード

このセクションから、よく使うバーコードにすばやくアクセスできます。スキャナバーコードの全リストは、DS8208/DS8288『製品リファレンス ガイド』を参照してください。



デフォルト設定



Tabキーの追加



Enterキーの挿入



Caps Lockキーをオーバーライドする (有効)



*Caps Lockキーをオーバーライドしない (無効)



ナイトモードを有効にする



ナイトモードを無効にする



ナイトモードの切り替え

ビープ音の表示

スキャナはステータスを通知するため、様々なビープ音を鳴らします。以下の表に、各ビープ音シーケンスの意味を示します。

説明	ビープ音のシーケンス
電源投入	低音→中音→高音
バーコードを読み取りました	中音
転送エラーが検出されました。データは無視されます	長い低音4回
パラメータの設定に成功しました	高音→低音→高音→低音
正しいプログラミングシーケンスが実行されました	高音→低音
不正なプログラミングシーケンス、または Cancel (キャンセル) バーコードがスキャンされました	長い低音→長い高音
トリガが解除されたときのバッテリー低容量を示します（コードレスDS8288/Rモデルのみ）	短い高音4回

LEDの表示

スキャナのLEDが点灯し、スキャナのステータスが示されます。次の表に、LED表示の意味を示します。

説明	LEDインジケータ
ハンドヘルドスキャン	
スキャナがオンになっておりスキャンの準備ができていないか、スキャナの電源が入っていません	オフ
バーコードが正常に読み取られました	緑色の点滅
転送エラー	赤色
ページング状態	青（高速／高速／低速）

説明	LEDインジケータ
ハンズフリー（プレゼンテーション）スキャン	
スキャナの電源が入っていません	オフ
デジタルスキャナのスキャン準備が整いました	緑色
バーコードが正常に読み取られました	瞬間的にオフ
転送エラー	赤色

トラブルシューティング

この表を使用して、スキャナのトラブルシューティングを行ってください。

問題	考えられる原因	考えられる解決方法
スキャナが動作しません。	スキャナに電源が供給されていません。	システムの電源を確認します。コードレスモデルの場合は、バッテリー／PowerCapが充電されていることを確認します。
	スキャナが無効になっています。	正しいホストインタフェースケーブルを使用しているかどうかを確認します。
スキャナでバーコードは読み取れるが、そのデータがホストに転送されない。	ホストインタフェースの設定が不適切です。	適切なホストパラメータバーコードをスキャンします。
	インタフェースケーブルが緩んでいます。	すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認します。
	ADFルールが無効です。	正しいADFルールをプログラミングしてください。
	スキャナがクレードルとペアリングされていません。	クレードルのペアリングバーコードをスキャンします。
スキャナがバーコードを読み取りません。	スキャナがバーコードタイプに対応するようにプログラミングされていません。	スキャンするバーコードのタイプを読み取れるようスキャナがプログラミングされているかどうかを確認してください。
	バーコードを読み取れない。	バーコードが劣化していないことを確認します。同じバーコードタイプのテストバーコードをスキャンしてみてください。
	スキャナとバーコードとの距離が不適切です。	スキャナをバーコードに近づけるか、離してください。
スキャンしたデータがホストに正しく表示されません。	ホストインタフェースの設定が不適切です。	適切なホストパラメータバーコードをスキャンします。
	地域が正しく設定されていません。	適切な国と言語のエンコード方式を選択します。

人間工学に基づいた考慮事項

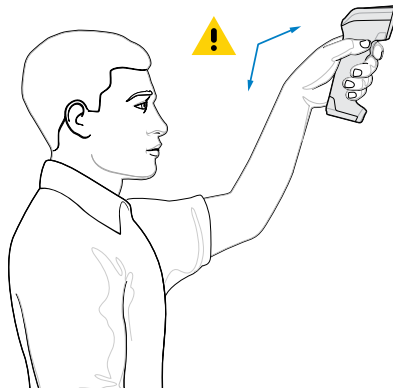
最適なスキャン体験を得るには、人間工学に基づく以下の推奨事項に従ってください。Zebraは、休憩とローテーション作業によって過労を防ぐことを推奨します。

最適な姿勢

腰を曲げて作業しないでください



無理に腕を伸ばさないでください



手首を極端に曲げないでください

